

超臨界流体部会 令和4年度 第2回役員会資料 議事録

(役員会)

日時：令和4年9月14日(水) 12:00～12:30

場所：オンライン会議(学会 GOING VIRTUAL システム)
(現地会場) 信州大学 W5-22 (BB 会場隣)

報告事項

- | | |
|----------------------------------|-----|
| 1. 2022年度(令和4年度)第1回役員会(部会長会)について | 資料1 |
| 2. NEWS LETTER No.34に関する報告 | 資料2 |
| 3. 第21回サマースクールに関する報告 | 資料3 |
| 4. 化学工学会第53回秋季大会について | 資料4 |
| 5. 2022年度(令和4年度)化学工学年鑑について | 資料5 |
| 6. 会員数・会員異動について | 資料6 |
| 7. 共催、協賛事業、関連国際学会について | 資料7 |
| 8. その他 | |

審議事項

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 令和4年度活動計画 | 資料8 |
| 2. その他 | |

注) 令和5年度予算案については、後日の審議をお願いしたい

参加者：23人(オンライン・信州大学 W5-22 からの接続を含む)

部会長あいさつ

渡邊部会長より、オンライン開催をふまえてのあいさつがなされた。

報告事項

資料1 2022年度(令和4年度)第1回役員会(部会長会)について

事務局から報告、部会長からより詳細な説明が追加でなされた。部会長から、次回のISSF(アジアでの開催になりそうな状況)について部会としても前向きに関与を深めていきたい、大型資金獲得についてはチームづくりなどの提案を期待したい旨のコメントがあった。

資料2 NEWS LETTER No.34に関する報告

織田先生より報告がなされた。執筆者に対する謝意が示され、次号は12月の発行予定である旨の説明があった。

資料3 第21回サマースクールに関する報告

岡島先生より報告がなされた。学生交流会では、今後の学会(対面)で学生間で声をかけやすくなる効果が期待できる旨のコメントがあった。

資料4 化学工学会第53回秋季大会について

川尻代表より報告がなされた。ハイブリッド開催の今回の秋季大会では、人も多く、活発な議論をお寄せいただきたい旨のコメントがあった。

資料5 2022化学工学年鑑について(とりまとめ 基礎物性 分科会)

春木先生より報告がなされた。執筆者に対する謝意を示す旨のコメントがあった。

資料6 会員数・会員異動について(令和4年3月から令和4年9月まで)

事務局より報告がなされた。

資料7 共催、協賛事業、関連国際学会について

事務局より報告がなされた。

その他

役員および部会員のメール審議を経て、超臨界技術センター株式会社を2022年度の化学工学会技術賞に超臨界流体部会から推薦した旨を追記した。

審議事項

資料8 令和5年度活動計画（これからの計画）

事務局より説明がなされた。また、部会長から追加の説明があった。共催、協賛についてはすでに役員会で了承されているので、行事参加を期待したい旨のコメントがあった。また、基礎セミナーについて紹介があった。活動計画に対する異論についての発言はなかった。

SuperGreen2022の招待講演1件が漏れていたため資料に追記した。また、協賛内容については主催団体名を資料に追記した。

その他に、佐々木先生から秋季大会の学生賞の審査についての説明があった。